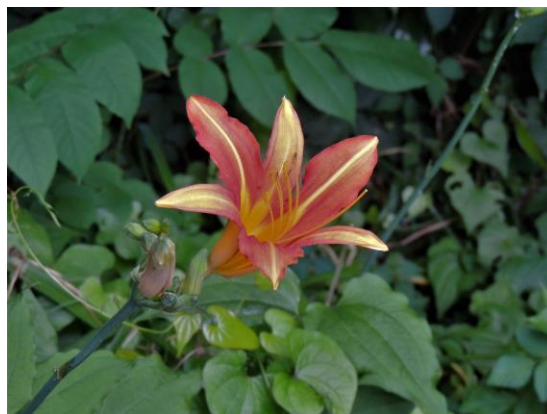


玉川上水緑道

6月29日（火） 曇り のち 晴れ

- ★ いかにも梅雨らしいすっきりしない天気が続いていた。この日も前夜から雨が降り始め、朝まで降り続けていたが、10時過ぎには上がって薄日も射してきた。雨雲レーダーを見ると、雨雲は東北地方へ去り、西日本には目立った雨雲もないので予定通り実施することとした。
- ★ 午後1時、田無駅下りホームの待合室に集まったのは初参加の牧野昭夫さんを含めて8名。青空も広がり始めてまずまずの散策日和となった。田無発13時2分の拝島行きに乗車、萩山で多摩湖線に乗り換えて13時18分に一橋学園駅に着いた。
- ★ 一橋学園駅から西武多摩湖線に沿って南へ500mほど行くと玉川上水にかかる桜橋である。玉川上水緑道に入るとケヤキ、クヌギ、コナラなどの大木が茂る林間の道で、まるで別世界に入ったようである。アジサイの見頃は過ぎたようだが、オレンジ色のノカンゾウが花盛りで、目を楽しませてくれる。上流に向かって300mほど行くと一橋大学の小平国際交流キャンパスがある。学部や研究科はないが、国際共同研究センターや図書館、体育館、学生宿舎などがある。また敷地内には放送大学東京多摩学習センターや大学改革支援・学位授与機構もある。



- ★ 旧鎌倉街道が通る鎌倉橋を過ぎると津田塾大学がある。英語教育、女子教育の先駆者である津田梅子が1900年に設立した女子英学塾を前身とし、1948年に津田塾大学となった。東京市麴町区・現在の千代田区で創立されたが、1931年に現在地に移転した。英語英文学科、国際関係学科、数学科、情報科学科などに3000人以上の学生が通っている。
-
- ★ 府中街道を挟んで津田塾大学の向かいに小平市立中央公園がある。総合体育館、野球場、テニスコート、陸上競技場などを備えた運動公園で、噴水広場や子供たちに人気のじゃぶじゃぶ池もある。私たちは噴水前のベンチで一休みした。このころになると青空が広がりすっかり真夏のような感じになってきた。
- ★ 西武国分寺線の踏切を越え、新小川橋の信号を渡った所で後続の4人の姿が見えないので待っていると、小学生がクラスごとに下校するのに出会った。担任の先生が付き添い、信号の所では二人の女の先生と中年の男性が誘導している。前日に千葉県八街市で5人の小学生が酒酔い運転手の運転するトラックに跳ねられて死傷する事件があったのを思い出し、この学校は随分

行き届いた安全対策をしていると感心した。この学校は新小川橋から 300mほど上流の玉川上水右岸にある創価小学校である。上水を挟んで左岸には創価高等学校と創価中学校があり、玉川上水にかかる学校専用の橋で兩岸のキャンパスが繋がっている。

★ 創価中学・高等学校の隣が白梅学園高校と短大である。またその隣に朝鮮大学校があつて、その奥には武蔵野美術大学がある。小平市には嘉悦大学もあるし、学園東町・学園西町という町名もあつて、まさに学園都市である。武蔵野美術大学に隣接する「きつねっぱら公園」で小休止を取った。

★ きつねっぱら公園から 800mほど行くと「森田オープンガーデン」がある。オープンガーデンとは、市民が丹精込めて作った庭や花壇を一般市民に開放するように小平市が推奨しているもので、市内に 27 か所ある。森田オープンガーデンはその中でも規模が大きく、面積は 1000 坪ほど、庭一面に様々な花が一年を通して咲き、花時計やハンモックなどもある。テレビで紹介されることもあり、加山雄三などの有名人や遠く関西方面から訪ねてくるそうである。私たちがこの庭に入ったときは人影が全くなく、各自が思い思いに庭の中を見ていると、奥の方から元気の良い女性の声が聞こえてきた。この庭のオーナー・森田さんと思われるが、この人がなかなか面白い人である。5 月に脳梗塞で入院したが、幸いにも大したことなく退院できたということである。病後とは思えない大きな張りのある声で、花のことなどを説明してくれた。モッコウバラの棚の下でカモミールティーとビスケットを頂いた。200 円であった。



写真左はヤマユリ、右はビロードモウズイカと言い、ヨーロッパ、北アフリカ、アジアに原産するゴマノハグサ科モウズイカ属の植物である。アメリカ、オーストラリア、日本にも帰化している。

ビロードモウズイカは、大きな葉のロゼットから伸長した長い花穂に黄色い小花を密集し、高さ 2m 以上にもなる。

初めて見る植物であったが、Google Lens で調べたら一発で名前や特徴などを知ることができた。



★ オープンガーデンから 500mほど行くと「こもれびの足湯」がある。ごみ焼却場の熱を利用した施設で、緊急事態宣言が出ていた時はクローズしていたが、宣言が解除になって再開していた。私たちが着いたときは 4 時半に近かったので足湯に入ることは出来なかった。足湯を過ぎれば昨年 10 月の例会「野火止用水」で行った上水小橋は目の前である。玉川上水駅 16 時 50 分発の電車に乗って帰宅の途についた。



森田オープンガーデンにて

今回も3人の方から俳句を頂きました。

百花苑 落し文剥き 茶をすする

木陰道 萱草の花 迎えをり 金子正男

上水の 堰の水音 涼しかり

緑道に 夏鶯の 澄みし声

ハーブ茶の もてなし一服 夏花壇 志賀 勉

梅雨楽し 飛び越えてみる 水たまり

向日葵に 諭されしかな 見下ろされ

おばちゃんの カモミールティ 梅雨晴れ間 桑田青三

注 落し文…虫の卵、幼虫などが葉にくるまったもの

写真と文 小島恕雄

参加者 金子正男、桑田制三、小島恕雄夫妻、志賀 勉、
牧野昭夫、水野 聰夫妻 以上8名